

平成 12 年 9 月 5 日

高野之夫豊島区長

ロシア連邦の未臨界核実験に対し

ウラジーミル・プーチン大統領へ嚴重抗議

本日 5 日（火）、高野之夫豊島区長は、ロシア連邦がノバヤゼムリャ島の地下核実験場で 8 月 28 日から 9 月 3 日にかけて 3 回の未臨界核実験を実施したことを昨日 4 日に発表したことに對し、ウラジーミル・プーチン大統領に抗議文を送付した。

抗議文は、別紙のとおり。

問合わせ先 総務課長

2000年9月5日

ロシア連邦大統領

ウラジーミル・プーチン 閣下

報道によれば、4日、貴国は、ノバヤゼムリャ島の地下核実験場で今年8月28日から9月3日にかけて3回の未臨界核実験を実施したことを発表いたしました。

私は、2月5日にも、今年に入って2回、昨年9月23日以降計7回の未臨界核実験を行った旨の発表が2月4日になって行われたことに際して、嚴重に抗議するとともに、一切の核実験の中止を要請したところです。

貴国は今年5月に、私が2月の書簡で要請したとおり、包括的核実験禁止条約（CTBT）の批准を行っており、世界の平和が一步近づいたと喜んでいた矢先に今回の発表があり、非常に驚くとともに、落胆いたしております。まさに、世界の希望に冷水を浴びせるかの行いであり、核兵器廃絶と恒久平和を願い「非核都市宣言」を行った自治体である豊島区にとりましては、看過することのできない行為であります。ここにあらためて強く抗議いたします。

また、実験の発表も、今回は3回をまとめて、前回においては7回をまとめて発表するなど、包括的核実験禁止条約（CTBT）がうたっている国際的な監視制度の趣旨をそこなうものであります。すみやかな情報の公開が不可欠であり、こうした姿勢は断じて容認できるものではありません。

包括的核実験禁止条約（CTBT）の批准の精神にたちかえり、今後一切の未臨界核実験計画を撤回するよう、重ねて強く要請いたします。

日本国

東京都豊島区長

高野 之夫

